

◆◆◆ 緊急地震速報利用者協議会から

「あいち防災フェスタ」へ出展しました

緊急地震速報利用者協議会では、愛知県防災局からの依頼を受け、平成 21 年 11 月 8 日（日）に愛・地球博記念公園（愛知県愛知郡長久手町）で開催された、あいち防災協働社会推進大会（通称：あいち防災フェスタ）への出展を行いました。「あいち防災フェスタ」は、地域の住民、自主防災会、事業所、学校、防災・災害ボランティアが連携し、防災対策の充実強化を図る「防災協働社会」への取り組みを推進するための防災啓発イベントとして愛知県・あいち防災協働社会推進協議会が主催しており、家族連れを中心に約 8,000 人の来場者がありました。

展示は屋外のテントで行われ、来場者が参加できる体験型のイベントが多数ありました。出展団体も愛知県防災局、名古屋地方気象台、陸上自衛隊といった公共機関に加え、愛知防災リーダー会などのボランティア、中部大学・半田商業高校などの防災に熱心な学校があり、愛知県の防災に対する意識の高さが見受けられます。

緊急地震速報利用者協議会としては昨年に続き 2 回目の出展となり、会員の協力により、関連機器の展示・説明を行いました。来場者が家族連れ的一般の方ということもあり、緊急地震速報の仕組みなど基本的な質問が多く寄せられました。また、テレビ・ラジオなどを通じて提供される一般向け緊急地震速報はほとんどの方が御存知でしたが、高度利用者向け緊急地震速報の知名度は低く、今後の周知・広報の必要性を感じる機会でもありました。

あいち防災フェスタでの出展ブースの様子



（財団法人気象業務支援センター配信事業部主任 熊谷泰一）